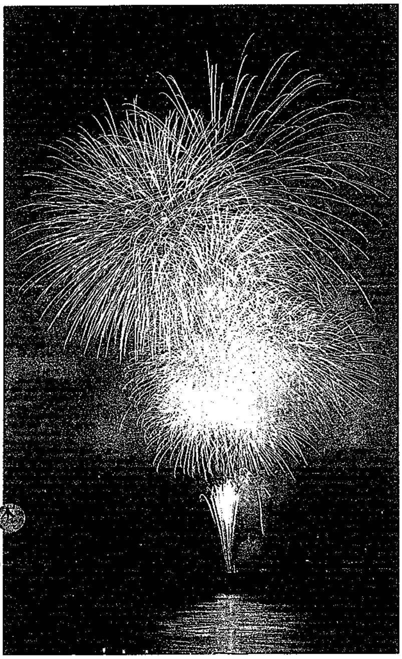

約150年前、やはり秋葉山で花火を上げた人物がいます。作家坂口安吾を輩出した坂口家の家系図をたどっていくと登場するのですが、8代津右衛門という人物です。

当時、津右衛門氏は近郷屈指の富豪として知られていましたが、邸内に道場を設け、諸国遊歴の武芸者を集めて武芸を奨励したり、また、文人を住まわせて文学・文芸を尊んでいました。これを聞き頼って、近隣諸国から多くの文化人がこの新津を訪れていたといいますから、当時の新津は現代風にいうならば、まちがいなく「文化発信基地」。

この津右衛門氏が好きで好きでしようがなかったのが「花火」でした。寒中であっても、秋葉山へ出かけ一つ一つ花火を名乗らせて打ち上げていました。それはいずれも尺玉前後の大きさで、とても大掛かりなもの。近郷の住民もその華やかさに酔いしれ、おらが里の花火を誇りにしていました。1世紀半も前の出来事でしたが、秋葉山から打ち上げられた花火は、まさしく新津の文化のルネサンスの象徴であったのです。

キリトリセン

花火打上げ申込み書

種　　別	価　　格	数　　量	花火に添えるメッセージを1発ごとに15字以内でお書きください（花火番組表に掲載し、全世帯に配布します）。
合　　計			

以上の花火を現金を添えて申し込みます。

住所

氏名（代表者名）

（連名の場合は、名簿を添えてください）

6月30日(火)までににいつ大花火大会実行委員会事務局（市役所商工観光課内☎24－2111）に現金を添えてお申し込みください。また、市内の各銀行などの金融機関の窓口でもお申し込みできます（代金は次の口座にお振り込みください。「にいつ大花火大会実行委員会　第四銀行新津支店普通1321349」）。